

科目名	作業分析学	担当教員	榮 志津江※ 宮城 由美子※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	---------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	2単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR22E	②、④					

科目概要	作業学概論の内容を踏まえ、作業療法で多く用いられる作業活動（革細工、ネット手芸、籐細工、陶芸）の作業工程を体験し、道具や材料の特性や各作業活動の特性を理解するとともに、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域における治療的応用（治療目的、治療適応となる対象者、期待される治療効果と段階付けなど）を可能にするための分析的視点と科学的思考力を養う。また、作業活動を実施する上での機器や道具、作業環境に関するリスク管理について学ぶ。
学習目標	① 各作業の道具、材料、工程を理解する。 ② 各作業の基礎技術を習得する。 ③ 各作業の特色、段階付け、治療効果について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス 総論 (1)	作業分析学総論 (1)	講義を通して作業分析の概要を理解する。	榮
2	総論 (2)	作業分析学総論 (2)	講義を通して作業分析の概要を理解する。	榮
3	演習 (1)	折り紙 (1)	演習を通して作業分析の仕方を理解・習得する。	榮
4	演習 (2)	折り紙 (2)	演習を通して作業分析の仕方を理解・習得する。	榮
5	演習 (3)	革細工 (1)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
6	演習 (4)	革細工 (2)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
7	演習 (5)	革細工 (3)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
8	演習 (6)	革細工 (4)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
9	演習 (7)	革細工 (5)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
10	演習 (8)	革細工 (6)	革細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
11	演習 (9)	革細工 (7)	革細工における学習目標③を理解する。	榮
12	演習 (10)	ネット手芸 (1)	ネット手芸における学習目標①②を理解・習得する。	榮
13	演習 (11)	ネット手芸 (2)	ネット手芸における学習目標①②を理解・習得する。	榮
14	演習 (12)	ネット手芸 (3)	ネット手芸における学習目標①②を理解・習得する。	榮

15	演習 (13)	ネット手芸 (4)	ネット手芸における学習目標①②を理解・習得する。	榮
16	演習 (14)	ネット手芸 (5)	ネット手芸における学習目標①②を理解・習得する。	榮
17	演習 (15)	ネット手芸 (6)	ネット手芸における学習目標③を理解する。	榮
18	演習 (16)	籐細工 (1)	籐細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
19	演習 (17)	籐細工 (2)	籐細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
20	演習 (18)	籐細工 (3)	籐細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
21	演習 (19)	籐細工 (4)	籐細工における学習目標①②を理解・習得する。	榮
22	演習 (20)	籐細工 (5)	籐細工における学習目標③を理解する。	榮
23	演習 (21)	陶芸 (1)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
24	演習 (22)	陶芸 (2)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
25	演習 (23)	陶芸 (3)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
26	演習 (24)	陶芸 (4)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
27	演習 (25)	陶芸 (5)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
28	演習 (26)	陶芸 (6)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
29	演習 (27)	陶芸 (7)	陶芸における学習目標①②を理解・習得する。	宮城
30	演習 (28) まとめ	陶芸 (8) まとめ	陶芸における学習目標③を理解する。	宮城
評価方法		課題提出 (90%)、講義に対する姿勢 (10%)		
課題に対するフィードバック		授業を通してフィードバックする。		
教科図書		特に指定しない (資料を配付する)。		
参考図書		浅沼辰志・編『作業学改訂第2版』メジカルビュー、2015年 岩瀬義昭・他『作業—その治療的応用 改訂第2版』協同医書出版社、2003年 古川浩・監修『作業活動実習マニュアル第2版』医歯薬出版株式会社、2018年 山根寛・著『ひとと作業・作業活動 作業の知をとき技を育む 新版』三輪書店、2017年		
学習の準備		1 (予習) 次回の資料を通読し、用語を確認しておく (45分) 2 (予習) 参考図書にあたり、次回行う作業の分析内容 (材料、道具、手順、作業のもつ意味、禁忌など) について確認しておく (45分) 2 (復習) 講義中に指示のあった課題に取り組む。理解が不十分である箇所を明確にしておき、次の講義で質問できるよう準備をする (90分)		
オフィスアワー		常勤講師は金曜日 12:10~13:00、16:10~17:00 その他在室時はいつでも可。 非常勤講師は講義の前後とする。		

担当教員欄に※印を
附した教員の実務経
験

榮志津江は、民間病院および施設で身体障害領域および高齢期障害領域における作業療法の実務経験を、また宮城由美子は、民間病院で精神障害領域における作業療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。